



(公社)佐倉市シルバー人材センター
ホームページ

ハローシニア佐倉

(公社)佐倉市シルバー人材センター

職場訪問

イオンタウン

今回はユーカリが丘のイオンタウン東館3階に昨年10月にオープンしたばかりの販売専門店「暮らしの生活館」(生活応援隊)で働くお二人を訪ねた。



店の場所は1000円のシヨップ「ダイソー」の隣で分かり易い。売り場は向かい合った2か所になっておりかなり広い。1つは会計コーナーのある紳士・婦人服・下着の服飾売り場。もう1つは靴やバッグ類・靴下、寝具など服飾雑貨などである。売れ筋はバッグ類などが20〜30%とのこと。3月という年度末のせいか最大70%オフの垂れ紙が張られていたが、元々20〜30%オフがこの店の「売り」のよう。



雑貨品の店舗



会計のある服飾店舗

今回の主人公・一人目は山崎真知子さん

昨年5月にシルバーに入会。投票所の手伝いなど単発の仕事を経験しながら昨年10月25日にこの店に入る。これまでに販売の経験は無かった。お客さんの多くが年齢が近く、「買い物相談に乗ったり、ついでおしゃべりなど」楽しく・面白い・体も楽。「また来るね」次回来るときは友達を連れて来たり、またその友達が友人を連れて来たりトリピートの輪が広がる事も。



山崎さん

お二人目は柘植りつ子さん

若い時に銀行員をしていたとのことで、これまで100円均一などいくつかの販売経験はあり。「JR佐倉の方から来ているので少し遠いと感じています」。昨年9月にシルバーに入会したが「希望を出していましたが申々気にいった仕事がなく」11月にこの店に入った。仕事自体は山崎さん同様面白く楽しいという。



柘植さん

取材担当/広報委員 小沼 英夫



大辻

佐倉を知る

井野の辻切り

市内西部の井野地区に辻切りという昔ながらの風習が大切に残されています。毎年1月にワラで作ったへびを飾り災厄や疫病を退散祈願するものです。辻切りの風習は廃れることなく、小学校や公民館などを通じて、ますます地元の人々に広がり親しまれています。

井野会館での大辻・小辻作り

最後は千手院近くの集会所「井野会館」で行われた辻切り作りを取材しました。現在井野地区で昔からの辻切りを保存している6つの班のうちのひとつです。辻切りの形はとほろ変われば少しずつ異なっている様です。足は4対の計8本、頭の上の部分はワラを全部縛り付けずにたて髪のような形に横に伸ばします。トゲで厄除けになるヒイラギに加え、その匂いで邪を払うというしきびも使われていました。出来上がった大辻2



井野会館での大辻作り



出来上がった大辻

体のうち、1体は井野小学校の玄関脇に飾られるとのことでした。取材した3カ所以外にも、志津公民館の「志津子ども教室」で小辻作り親子体験会が開かれたり、井野小学校では3年生の正規の授業で120名の参加で小辻作りが行なわれたとのことでした。地域の風習がしっかりと伝わって残り、更に広がっていることを知り、大変心強い思いがしました。

取材担当/広報委員 小野寺 弘孝

小竹小学校での辻切り作り

辻切りは大蛇と呼ばれる長さ4〜5メートルの大辻と小さな小辻とがあります。大辻は集落への入口にある大きな木に這わせ災厄や疫病が集落に入るのを遮り、小辻は家々の門口や玄関に飾り家の守りとしします。

小竹小学校で小辻作りを主催するのは「小竹小学校区まちづくり協議会」の皆さん。密を避けて2回に分けて開催され、参加申込者は小竹小学校の親子さんを中心に70名。会場の体育館には大きなブルーシートが2枚広げられ、テーブルには「志津歴史同好会」の田辺会長に準備頂いた、へびの胴体となる細い縄や舌にする赤唐辛子、厄除けのヒイラギの小枝などの材



小竹小の小辻作り



田辺会長の製作指導



出来上がった小辻

が出来たら胴体の縄にヒイラギの小枝と護符(お札)を括り付け、最後に紙を丸めマジックで黒目を描いた目玉と唐辛子の舌を差し込んで完成です。

当日のお世話役「まちづくり協議会」の神藤敏正様のお話し。「小竹小学校では5年生が米作り体験学習を行っています。4月の種蒔き、5月の代掻き・田植え、6月の草取り、9月の稲刈り・脱穀と体験学習を行なっています。その稲刈りでできたワラで今日は辻切りを作っているものです」

志津公民館での大辻作り

志津公民館では「志津歴史同好会」が主催し、「佐倉道を歩く会」から5人が応援参加されて、大辻の製作が行なわれました。



志津公民館での大辻作り

大辻作りは、大蛇の胴体になる太縄を編むところから始まります。ここでも「志津歴史同好会」の田辺会長の指導です。田辺会長が3本の縄をしっかり束ね持ち、向かい合う3人の男性がそれぞれの縄を振りながら、掛け声をかけて一斉に隣の人に縄を渡して太縄を編んでいきます。縄を振る強さや徐々に増やしたり減らしたりするワラの量は3人が同じペースにしないとまっすぐ行きません。へびとはいえ左右5本ずつ計10本の足も付けられます。完成した大辻は公民館駐車場の出口脇の桜の木にとぐろを巻いた立派な姿で設置されました。



大辻の設置

米寿・喜寿をお迎いの皆さまへ

お祝いの言葉

会員互助会

会長 岡本 恒雄



この度、令和4年度の会員互助会による「長寿お祝いの会」で米寿・喜寿を迎えられた会員の皆さま、誠にありがとうございます。例年2月に、皆さまにお集まり頂き式典を開催致しておりましたが、新型コロナの感染拡大を考慮し、今年も式典は中止しましたことご理解願います。

新型コロナも少しは終息の気配も見えてまいりました。早く終息することをお祈り致しております。

皆さま方におかれましては、佐倉市シルバー人材センターの会員として、長年に亘り就業されるなか、会員との交流を深め、健康維持を図り米寿・喜寿を迎えられたこととお喜び申し上げます。これからも、お身体ご自愛のうえ、ますますお元気に就業され、仲間との交流を深められますことを祈念し、お祝いの言葉に代えさせていただきます。

今後とも会員互助会へのご理解とご協力の程、宜しく願い申し上げます。

会長 田中 豊嗣



このたび、米寿・喜寿をお迎えになられた皆さま心よりお喜び申し上げます。

日々会員としてセンター運営に互助会にご活躍頂き感謝致しております。新型コロナ感染拡大から既に3年が経過しましたが、皆さまにおかれましては感染予防の為、同好会での活動も満足に出来ず、我慢の日々だったと思います。然しながら先日、国は新型コロナの規制緩和を5月連休明けにも実施する方針を出しました。新型コロナは終息していませんが、日常生活に互助会活動にやっと「春」が訪れる気がしております。

人生100年と言われておりますが、いつまでも会員としてご活躍いただく事が健康を維持する秘訣だと思います。

この3年間活動できなかった分をこれからは少しずつ取り戻して下さい。就業先にて、また同好会活動において皆さまの笑顔がこぼれる事を祈念してお祝いの言葉とさせていただきます。本日は、本当におめでとうございます。



お礼の言葉

長寿祝い代表
坂宮 英子

(佐倉・和田地区4班)



寒中お見舞い申し上げます。この度私たちは、米寿・喜寿を迎えることが出来ました。

シルバー人材センター様よりお祝いをいただきころからお礼申し上げます。

私は、お仕事と良いお友達にめぐまれており幸せに働くことが出来ました。

毎日、目が覚めると「嬉しいな、たのしいな、幸せだな、ありがたいな」と言って毎日を送っています。

皆々様も寒いので、お体に気をつけてお励みください。

心よりお礼申し上げます。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|--|
| 市東村 | 藤倉原 | 山本利 | 櫻井建 | 柳田則 | 池田勲 | 原口英 | ヤガエ | 柴倉紀 | 白井千 | 高松美 | 花村満 | 徳永秀 | 尾谷成 | 佐藤成 | 兼坂一 | 横森典 | 志田百 | 上野昌 | 佐藤好 | 豊田葉 | 井原久 | 平田晃 | 船越正 | 田越敏 | 鶴崎金 | 佐倉和 | 梅野三 | 井上亘 | 内藤幹 | 岩田庸 | 高橋勉 | 坂宮英 | | |
| 正宏 | 好司 | 積治 | 利子 | 則夫 | 勲 | 英 | エリナ | 紀美代 | 千代田 | 美紗子 | 満博 | 秀美 | 成人 | 成子 | 一子 | 典子 | 百合子 | 昌司 | 好子 | 葉子 | 久江 | 晃 | 正義 | 敏子 | 金次 | 和地区 | 三郎 | 亘 | 幹 | 庸 | 勉 | 英子 | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 祝 | 祝 |
| 喜寿 | 米寿 |
| 昭和20年4月5日
21年3月生れ | 昭和9年4月5日
10年3月生れ |

スポーツ吹き矢同好会訪問

卓球やテニスなど激しい運動を普段やっている人々から見ると易しく見えますが、実際にやってみるとその面白さと健康への効果は侮れないようです。今回は1998年に日本で生まれたスポーツ吹き矢同好会を覗いてみました。



が少なくなったなど兎も角調子がいい。よくしゃべるようになり活動的になりました(立田栄一3段)。その他視力が上がっています。10メートル先の小さな黒い丸を狙い(10点満点を常に狙っています)、当たった時の嬉しさとその喜び、また全員で喜び合ってくれるのです。その他にも血圧が安定化した、血糖値が下がった、ダイエットにも繋がり美肌にも(高松指導員)など様々な報告があるとのこと。



立田栄一さん

基本動作

- ① 的に向かい礼をする
- ② 足を肩幅に開き45度の角度で構え矢を筒に入れる
- ③ 両腕で筒を高く上げながら鼻から息を吸う(これが胸式呼吸となる)
- ④ 筒をゆっくり下げながら口から息を吐き切る
- ⑤ 的を見て息を吸いながら筒を的に向ける
- ⑥ 一気に吹く(この時、1・2・3と意識しながら3で一瞬の複式呼吸で)
- ⑦ 息を整え的に向かい一礼をする。——スポーツ式呼吸のポイントはこの2つの呼吸法と集中力と言われます(高松保上級公認指導員)。的に向かい筒を口に咥え静止して凝視する数秒間、体が動いたり、腕が動いては的には当たりません。



高松指導員

楽しみ・魅力・健康への効果

いつでも・どこでも・自宅でも手軽に楽しめる。性別・年齢・障害の有無も関係なく。精神力と集中力も高めてくれます。私自身始めて8年になりますが風邪を引かなくなった、喘息気味だったのがせき



立田さんはシルバー歴15年で日常は自転車のリサイクルセンター(酒々井町との合同センター)で現在も働いており吹き矢同好会後も頑張りたいと。取材時点(2月4日)でこの同好会はコロナの中で自主練習という形の中で実施しており、4月からは正式に月に2回ずつ開催していく予定(西部保健センター)。とても楽しい会ですので皆様の是非とものご参加をお待ちしております(立田さん)。

取材担当/広報委員 小沼 英夫